

木造家屋建築工事における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	新築住宅工事現場で余剰となった建築資材の回収作業中、耐力壁（t9mm、900×4,000、約20kg）を平置き状態から立掛状態にし、搬出方向に方向転換したところ、板厚を持った手袋が滑り、左足指先に落下し負傷した。	64	1～9
1	16～17	木造2階建、解体現場にて、2階ベランダ横のエアコン室外機取り外し作業を行う。取り外しが終了し、室外機台座をベランダに置いたところ、ベランダ床が腐食しており、ベランダ床が抜け、台座（約3kg）が屋根を転がり落下し頭上に落下し、台座が鼻にあたり、鼻骨骨折で全治2週間と診断された。	43	—
1	10～11	当事業所にて、作業スペースの除雪作業をしていたところ、屋根から雪が落下してきて、そのまま尻もちをつき負傷した。	60	1～9
1	10～11	解体工事現場に於いて、軒先テントを撤去している中、バネによりパイプの骨組みが伸び、頭部に当たり、足場板から落下し、かかとを強打した。	60	—
1	16～17	解体工事現場において、長さ1.5mほどのコンクリートガラを人力（3人）で抱えて移動させていた際、バランスを崩し、革手袋から手が抜けてコンクリートガラが足の上に落ち、右足の第2・3趾、左足の第4趾を骨折した。	16	1～9
1	11～12	リフォーム中の現場で、車庫上のRC作りのサッシュを解体中、厚さ6mm程のガラスが割れてそれを取ろうとしたとき、上からガラスが左手首に落ちてきた。その後、出血が止まらず救急搬送された。	39	—
2	15～16	住宅解体工事の現場で1階部分の屋根がなくなっている場所に廃材トレーがあり、そこへ工具を取りに行こうとしていた。休憩直後であったためヘルメットは着用して	33	1～

		いなかった。頭上より50cm四方のモルタル壁材20kg以上が崩れ落ちて頭頂部に当たり倒れた。8cm位頭部を切り出血した。		9
3	10~11	解体作業中にコンクリートのついた鉄骨を重機で持ち上げ移動させていた。重機から鉄骨を離れた際に落下した箇所のバランスが悪かったため、弧を描いて被災者側に倒れてきて頭部を直撃した。	43	1 ~ 9
4	11~12	新築工事現場で、天井に張ってある断熱材のビニールをカッターで切っていたところ、カッターの刃が折れて左目に飛んで来て刺さり、左目を負傷した。	54	1 ~ 9
4	13~14	作業場にて従業員が沓石を作成する作業をしていた際、型枠にモルタルを充填していた時にモルタルが飛びはねてしまい、目に入り負傷した。	28	1 ~ 9
4	10~11	工事現場において、1階の屋根から2階の屋根へ、幅1,820mm、高さ220mmの鉄製の屋根材を引き上げていた所、材料をくくっていた結束バンドを2階の者が掴んだ瞬間に切れて、材料が真逆さまに落下し、1階屋根にいた被災者の左足つま先を直撃して骨折した。	38	1 ~ 9
4	9~10	解体工事現場で解体作業中、建物の窓ガラスを取りはずし置いていた物をトラックに搬入する時、割れたガラスが落ちて来て右手首に当たり裂傷した。	39	1 ~ 9
5	14~15	個人宅リフォーム工事で外壁の下地工事中に、水糸を自分で張るため木にカルコをさし、水糸をピンと張ったと同時にカルコが外れて飛んで来て、右目に当たってしまった。	32	1 ~ 9
5	14~15	会社の資材倉庫内で、倉庫のクレーンを使用して鉄筋の束（9Φ×5.5m×15本、約100kg）を吊り上げて車に積む作業をしていた時、使用前の点検が十分でなかったため、ワイヤーの止め金具のネジがゆるんでいて止め金具が外れて鉄筋の束が落下し、側にいた補助作業員（被災者）の左足踝部に当たった。	23	10 ~ 29
5	10~11	新築足場解体で足場を解体している時、1.5mのパイプを仮置きした際に単管が落下し、下にいた作業員の右手に当たった。	18	1 ~

				9
5	16~ 17	個人宅解体工事現場にて、H鋼のボルトを外す作業をしている時、足場高さ2.5mの高い場所にいた際、H鋼の片方が外れていないと思いボルトを外したところ、H鋼が外れて右足先に落下し負傷した。	26	1 ~ 9
6	9~ 10	構内、製函作業において、手動製函機にて作業中、自動製函機への箱の補充に移動する際、ダンボールの水漏れ防止の為に敷いてあるパレットに躓き、右肘から地面に強打し、右肩を脱臼した。	37	1 ~ 9
7	14~15	会社倉庫入口の扉（重さ約130kgの鉄製板製）を塗装修理するため、レールからはずし、下に角材を入れて、3人でゆっくり扉を下に降ろす作業をしていた時、途中でバランスが崩れ、すぐ離れるよう声をかけられたが間に合わず、左足の甲に落ち、ヒビが入った。	59	1 ~ 9
7	9~10	トラック荷台側面（現場入口付近）にて、平積みされた石膏ボードの横に立て掛けてあった石膏ボードを運ぼうとしたところ横立て掛の石膏ボード（14枚、約319kg）が崩れ落ちてきたため、避けられずに被災者の背中、腰にぶつかり受傷した。	31	1 ~ 9
7	15~16	住宅大工工事現場に於いて、二階の天井下地を造作作業中に、釘打ち機を使用していたところ、誤って釘が跳ね返ってきて左目に当たった。しばらく様子を見ていたが痛みが引かなかった。手術が必要と言われた。	56	1 ~ 9
7	8~9	カゴを重機で挟もうとしたら階段に接触をして、落下して被災者に当たった。	44	1 ~ 9
7	20~21	事務所前にて従業員に、翌日の作業工程の確認のために、倉庫の資材を使い、練習をしていたところ、誤って資材を足の上に落としてしまった。	22	1 ~ 9
7	9~10	住宅足場組立て業務作業中、1段目（2m位）にいる同僚に鉄製部材（1800手摺）を渡したが、同僚の手がすべり落下した。「あぶない」との声に振り向いた際、部材が右側顔面に当たり右頬骨上顎骨折した。飛ばされ、右足も負傷した。	51	1 ~ 9

7	12～ 13	トラック荷台をあけて物を載せようとしたときに、シートのゴムが箒に絡まって、シートを引っ張った際に箒が飛んできて、箒の柄の部分が右眼球に当たって負傷した。	32	1～ 9
7	9～ 10	狭い道路に隣接したコンクリートブロック構造の車庫を、重機による解体作業中に、道路にこぼれ落ちたコンクリートブロックの塊を手作業で除去中、ブロックの上に上部（約80cm）からブロックが落下して、下のブロックとの間で左手人差し指を骨折した（開放骨折、動脈断裂）。	63	10～ 29
7	19～ 20	木造改修住宅の工事完成後、足場材を解体し、リース会社へ返却し、足場材をフォークリフトで下ろす作業中に、爪を広げようとして落下し、左手指3本を挟み骨折した。	22	1～ 9
7	8～9	元請現場での地震復旧工事で、上部と下部がはめこみ式の本棚の居座り具合が悪かったため、一人で本棚の下にベニヤ板を入れて調整しようとした。屈んだ状態で本棚の下部を持ち上げたときに、上部が外れて自分の頭の上に落ちて、一瞬、頭がぼーっとなってしまった。そのとき腰や背中が痛くて、その場にうずくまってしまい、痛みのため、そのまましばらく動けなくなった。	62	1～ 9
9	14～ 15	新築工事現場にて、2階梁に金具を取り付け、ハシゴを下りてきたところ高圧の釘打ち機が土台の上に置いてあり、釘打ち機の先端部分（釘の出る部分）に足が触れ釘が発射されて右足に刺さり負傷した。	69	1～ 9
9	18～ 19	建方工事中、1階玄関ポーチの金物へのキカイ釘打ちの作業を行っていた。ポーチ土間があった為、釘打ち機を水平に使用し、暗い状況での作業で、キカイ釘の刃先が良く見えない状況だった。	23	—
9	9～ 10	リフォーム工事において、足場の組み立て作業中、トラックの荷台に積んでいる足場の建地（重さ約13kg）を荷台に乗って降ろしていた時、積んでいた建地につまずき荷台から転落した際、荷台上の建地が崩れ落下した建地と地面に右手首を挟まれ、骨折負傷する。	32	1～ 9
9	14～ 15	現場の地盤改良工事中、鋼管移動作業をユンボが行っており、ユンボのバケツが鋼管の端を押さえた、その時、近くに立っていた本人の右手甲に鋼管がはねて、負傷した。	28	10～ 29

10	16~ 17	木造住宅解体において、機械、人力併用で木軸の解体中に、重機オペレーターがグラフアタッチメント付き0.25?バックホウにて梁材（約6m）を持ち替える為に、梁材を掴んだところ、梁材が回転し他の廃材木材とぶつかり跳ね、近くで木材片を集めていた被災者踝に当たり骨折した。	65	1 ~ 9
10	9~ 10	家屋解体現場において、重機（解体用つかみ機）にて2階の木造スノコベランダを取り外す作業中、木造スノコベランダが予想以上に腐敗しており崩れた為、重機や家屋から十分に離れて廃材処理作業していた作業員の背中に木造スノコベランダの一部が落下し受傷した。	79	10 ~ 29
10	9~ 10	解体工事現場において、ミニ重機を使つての床材の撤去作業中、弓なりになった床板より棧木（5×5×100cm）が外れて飛び、近くで作業していた被災者の左腕に当たり、負傷したものの。	71	—
10	8~9	貸倉庫の電柱交換工事に於いて、新しい電柱（直径200m/m）を建てるためサンダーでアスファルトに溝を作っていた際に、サンダーが引っ掛かって履いていた安全靴に刃が飛び右足、小指を負傷したものの。	50	1 ~ 9
10	15~ 16	新築木造現場で、屋根タル木を取り付け作業をしている時、釘打機で使うロール釘の連結している針金が、釘を打った時に左目に跳んできた。負傷した次の日から1週間は痛みがなかったが、1週間ほどたって痛みが出てきた。	22	1 ~ 9
10	11~ 12	多目的集合新築工事のため、基礎工事をしていた。手持ちサンダーで鉄筋を切断したとき、手が滑りサンダーを落としてしまった。サンダーは回転したまま本人の左足親指のところに落ち、負傷した。	64	10 ~ 29
11	13~ 14	木造共同住宅新築工事現場にて3階床パネル据付作業中、別の作業員がクレーンで荷揚げをした床用パネルの一部が外れて落下してきた資材がぶつかり、体勢を崩して落下した。その際2階床でバウンドして更に階段設置前の床穴部から1階へ落下し、全身を強く打ちつけ負傷した。	73	1 ~ 9
11	14~ 15	建築現場（個人宅新築工事）で、フレーミング工事中に、外装の壁の外れた釘を電動工具を使い打ち直そうとしたら、失敗し釘が飛んで右目にぶつかり、白目部分に刺さったため、病院へ行き受診した。	45	1 ~ 9

11	6~7	当社置場構内において、建物解体2期工事現場へ行く準備中、重機につける鉄製のピンを持ち上げようとしたところ、ピンが箱から滑り落ちて、被災者の足に当たり、受傷した。	60	1 ~ 9
11	14~ 15	個人宅リフォーム工事において、ハンマーとスクレイパーにて台所流し前壁タイルを解体作業中、タイルの破片が右目に飛んで来て負傷した。痛みはあったものの我慢していたが、一部視覚が見えなくなり、後日病院で受診する。	40	10 ~ 29
11	13~ 14	個人宅新築工事において、基礎打設工事の為、コンクリート圧送車を使用していたところ、圧送車のアームが足場に触れ、その衝撃で足場の一部が落下し、作業員の太ももに当たり負傷したものである。なお、現場は勾配があり、道路より下での作業であった為、圧送車のアームを足場の上へ伸ばし、ホースを下へ垂らしながらの作業であった。	33	1 ~ 9
11	11~ 12	リフォーム工事に使用する窓枠を加工する為の材料（長さ4m×2~3kg）3枚を、自社作業場において、手に持っていたが、手が滑り材料が足の上に落ちて負傷した。痛みがあったが我慢して仕事をしたが、痛みがひどくなった為、仕事が終わってから病院を受診した。	21	1 ~ 9
12	15~16	自社工場内で、2tダンプ車荷台の後ろゲートを開けようとして左右の開閉レバーを外したところ、後ろゲート下部固定ピンが外れている事に気づかなかった為、後ろゲートが脱落して、右足に落下したものである。	65	1 ~ 9
12	12~13	新築工事の玄関の床板に使用する木材を、自社作業場において加工し移動する際に、下に敷いてあった厘木（20cm角×3m）が、高さ80cmの位置から右足の上に落ちてきて負傷した。	35	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html